

5

[東京工大]

平面の原点  $O$  を端点とし、 $x$  軸となす角がそれぞれ  $-\alpha$ 、 $\alpha$  (ただし  $0 < \alpha < \frac{\pi}{3}$ ) である半直線を  $L_1$ 、 $L_2$  とする。 $L_1$  上に点  $P$ 、 $L_2$  上に点  $Q$  を線分  $PQ$  の長さが 1 となるようにとり、点  $R$  を、直線  $PQ$  に対し原点  $O$  の反対側に  $\triangle PQR$  が正三角形になるようにとる。

- (1) 線分  $PQ$  が  $x$  軸と直交するとき、点  $R$  の座標を求めよ。
- (2) 2 点  $P$ 、 $Q$  が、線分  $PQ$  の長さを 1 に保ったまま  $L_1$ 、 $L_2$  上を動くとき、点  $R$  の軌跡はある楕円の一部分であることを示せ。

[東京工大]

5

(1) 線分 PQ が  $x$  軸と直交するとき、 $PQ=1$  より、

$$P\left(\frac{1}{2\tan\alpha}, -\frac{1}{2}\right), Q\left(\frac{1}{2\tan\alpha}, \frac{1}{2}\right)$$

さて、PQ の中点 M は、 $M\left(\frac{1}{2\tan\alpha}, 0\right)$  となり、

$$MR = MP \tan \frac{\pi}{3} = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

よって、 $R\left(\frac{1}{2\tan\alpha} + \frac{\sqrt{3}}{2}, 0\right)$  である。(2) 半直線  $L_1, L_2$  の方向ベクトルの成分は、それぞれ  $(\cos\alpha, -\sin\alpha), (\cos\alpha, \sin\alpha)$  とすることができるので、 $p>0, q>0$  とし、

$$P(p\cos\alpha, -p\sin\alpha), Q(q\cos\alpha, q\sin\alpha)$$

すると、 $PQ=1$  より、

$$(p-q)^2 \cos^2\alpha + (p+q)^2 \sin^2\alpha = 1 \cdots \cdots \textcircled{1}$$

さて、PQ の中点 M は、

$$M\left(\frac{p\cos\alpha + q\cos\alpha}{2}, \frac{-p\sin\alpha + q\sin\alpha}{2}\right)$$

また、 $\overrightarrow{QP} = (p\cos\alpha - q\cos\alpha, -p\sin\alpha - q\sin\alpha)$ 、 $|\overrightarrow{QP}| = 1$ 、 $|\overrightarrow{MR}| = \frac{\sqrt{3}}{2}$  より、

$$\overrightarrow{MR} = \frac{\sqrt{3}}{2}(p\sin\alpha + q\sin\alpha, p\cos\alpha - q\cos\alpha)$$

そこで、 $\overrightarrow{OR} = \overrightarrow{OM} + \overrightarrow{MR}$  より、 $R(x, y)$  とおくと、

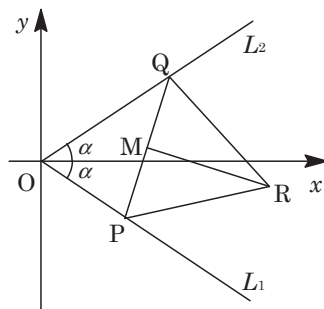
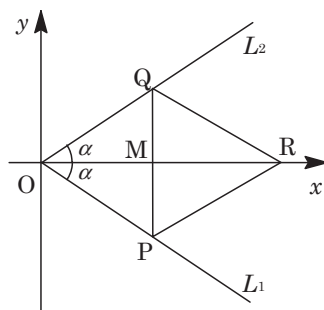
$$\begin{aligned} x &= \frac{1}{2}(p\cos\alpha + q\cos\alpha) + \frac{\sqrt{3}}{2}(p\sin\alpha + q\sin\alpha) \\ &= \frac{1}{2}(\cos\alpha + \sqrt{3}\sin\alpha)(p+q) = \cos\left(\frac{\pi}{3} - \alpha\right)(p+q) \cdots \cdots \textcircled{2} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} y &= \frac{1}{2}(-p\sin\alpha + q\sin\alpha) + \frac{\sqrt{3}}{2}(p\cos\alpha - q\cos\alpha) \\ &= \frac{1}{2}(-\sin\alpha + \sqrt{3}\cos\alpha)(p-q) = \sin\left(\frac{\pi}{3} - \alpha\right)(p-q) \cdots \cdots \textcircled{3} \end{aligned}$$

 $0 < \alpha < \frac{\pi}{3}$  より、 $\cos\left(\frac{\pi}{3} - \alpha\right) > 0$ 、 $\sin\left(\frac{\pi}{3} - \alpha\right) > 0$  となり、②③を①に代入すると、

$$\frac{\sin^2\alpha}{\cos^2\left(\frac{\pi}{3} - \alpha\right)} x^2 + \frac{\cos^2\alpha}{\sin^2\left(\frac{\pi}{3} - \alpha\right)} y^2 = 1$$

よって、点 R の軌跡は楕円の一部分である。



## [解説]

図形と方程式の重要題の1つで、単位ベクトルの効用が実感できる問題です。